

# 平成29年 12月定例会



ふるさと体験交流館改修工事

一般会計 6400万円 追加

12月5日から7日までの3日間の会期で、12月定例議会が開かれました。  
町長から行政全般について報告されたほか、条例案件、一般会計及び特別会計予算案など、15議案が慎重に審議され、全て原案のとおり可決しました。

歳入	地方交付税	5000万円	円
	国庫支出金	3563万2千円	千円
	県支出金	108万3千円	千円
	寄附金	28万5千円	千円
	町債	3200万円	円
(※△はマイナス)			
歳出	議会費	20万7千円	千円
	総務費	△937万8千円	千円
	民生費	911万5千円	千円
	衛生費	△347万8千円	千円
	農林水産業費	△286万1千円	千円
	商工費	1億647万2千円	千円
	土木費	△12万2千円	千円
	消防費	192万6千円	千円
	教育費	856万6千円	千円
	予備費	855万3千円	千円

**企画費**  
・地域おこし協力隊関連費用不用見込  
△710万円  
(ふるさと振興課)

**問** 村上満 議員

不要額が出た要因は。

**答** ふるさと振興課長

4名の隊員のうち1名は家庭の事情、2名は自立して町に定住し退任したため。

**問** 村上満 議員

平成31年度までに協力隊員を10名まで増員するという計画があるが、今後どのように確保していくのか。

**答** ふるさと振興課長

引き続き広報紙や移住フェアなどでPRを行っていく。

**商工振興費**  
・産業活性化助成金不足見込  
250万円  
(ふるさと振興課)

**問** 村上満 議員

9月にも補正を行っているが、不足が出た要因は。

**答** 農林建設課長

近年交流人口の拡大やPRを行っているおかげで販売量が伸び、助成の申請件数が増えている。

※産業活性化助成金とは  
上限を200万円とし、事業費の3分の2を助成して起業や事業の拡大などを目的として支援する制度。

**商工振興費**  
・電柱等移転工事負担金  
255万9千円  
(ふるさと振興課)

**問** 武藏重幸 議員

何本を移転するのか。

**答** ふるさと振興課長

賑わい拠点北側エリアに立っている電柱と支線を合わせて5本が対象となる。

**ふるさと創生費**  
・ふるさと体験交流館改修工事不足見込  
712万8千円  
(ふるさと振興課)

**問** 村上満 議員

不足額の要因は。

**答** ふるさと振興課長

解体にともない、外壁からの漏水カ所の補修、石綿の処理、一部備品の処分費等の追加費用が発生した。

**消防施設費**  
・横川班消防詰所用地購入関連費用  
1835万円  
(総務課)

**問** 管原研治 議員

用地の購入は現在の詰所がある土地を購入するのか、新たに詰所を建てるための用地を購入するのか。

**答** 総務課長

詰所のある土地の所有者が変更となり、土地を売りたいという申し出があった。駐車場用地として詰所協の土地も合わせて購入する。

